



図書館だより



お知らせ

1. まいにち図書館をつかえるよ！全学年昼休みの貸し出しを再開

コロナウィルス感染対策として各学年1週間に1回しか図書館を使えませんでした。10月から再び全学年の昼休みの貸し出しをはじめました。業間の休み時間は、引き続き学年別で対応します。

2. イベントもりだくさん！読書週間

10月27日(水)～11月9日(火)は、日本全国で「読書週間」といわれ本に親しむ期間となっています。日和田小学校ではアウトメディアの活動と合わせて、お家でもたくさん本を読む時間をつくれるように呼びかけています。

<今年もやります！読書週間のイベント>

☆先生のおすすめの本をしょうかい ☆「100冊読んで賞」の表彰 ☆読書郵便

さらに・・・

☆図書館ビンゴ（ビンゴ用紙に読んだ本を書こう！ビンゴになったら、しおりをゲット）

☆50冊以上読んだ人にワンピースの貸出カードをプレゼント！

読書主に・・・
俺はなる！！



図書館のようす

1. 4年生、本の紹介をするポップが完成しました

4年生の国語の授業でノンフィクション（本当の出来事について書かれた作品）の本を紹介する授業がありました。授業で作ったポップや帯を図書館でお借りし、展示しています。

ものがたり
物語とはちがい、実際に
あったことが書かれている
ノンフィクション



2. どんな本を読んだかな？「読書のきろく」

どんな本を読んだのか、何冊くらい読んだのか本の記録をつけている人はいますか？ 図書館では、自分だけの「読書のきろく」が作れるプリントを配布しています。読んだ時の気持ちを書きとめたり、友達にすすめしたりするのに自由に使ってください。3枚目になったら、記念にしおりを1枚プレゼントしています。

福島県の1か月の平均読書冊数は前年度に比べ上昇傾向にあり、小学校の合計平均冊数は11.2冊から12.0冊となりました。15年前から始まった読書量の調査では約3倍にまで増加し、コロナ禍におけるおうち時間が増えたことも一因のようと思われます。ただし、「テレビ、ゲーム、スマホの方が楽しい」という理由からあまり本に関心がない児童も少なくありません。小学生の時期に出会う本の意義は大きく、読書は言葉や表現力を学ぶ絶好の機会でもあります。学力に直結する読解力の向上にもつながります。

図書館で本をえらぶ子ども達は生き生きしています。どんな本を借り、何を感じたのか、ぜひこの機会に親子で読書の時間をつくっててください。(令和2年度「読書に関する調査」福島県教育庁義務教育課資料参照)

本のしょうかい

今回は「読書のきろく」と4年生のポップ作品の中から本を紹介します。



913
ハル

『それぞれの名前』
(春間 美幸)
この本には6人の小学生が出てきます。一人一人自分のこせいがあって、おもしろかったです。一人一人がみんなと支えあって成長していく感動する本です！(5年女子の紹介)



913
ホリ

『犬とまほうの人さし指！』
(堀 直子)
犬といっしょに全国大会をめざす「ユイ」がかっこいいなと思いました。
(5年女子の紹介)



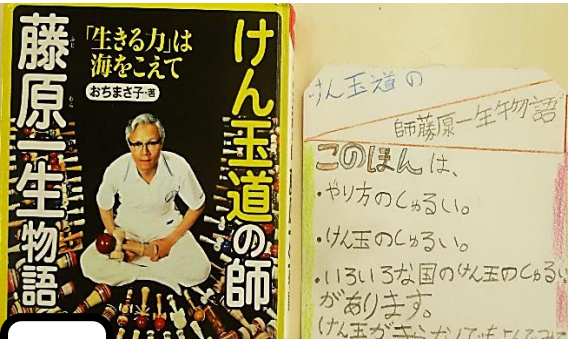
913
ミワ

『のんびりオウムガイとせっかちアンモナイト』
(三輪 一雄)
オウムガイやアンモナイトはあまり知られていないかもしれないけど、この本を読むとたくさん分かり、好きになる人もたくさんいるのでは？
(5年女子の紹介)



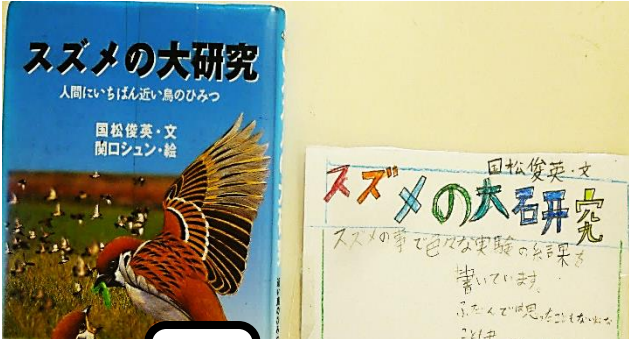
913
マス

『空をけつとばせ』(升井 純子)
私もさかあがりができなかったので、悠斗の気持ちは分かります。私は、校長先生に教えてもらってさかあがりができるようになりました。その時のよろこびは今でもおぼえています。この本を読んだらきっとさかあがりをがんばる勇気もらえると思います。
(5年女子の紹介)



916
オチ

4年生 男子の紹介



916
クニ

4年生 男子の紹介

『あやかし 図書委員会』
(羊崎ミサキ)
ゆうれいが出てきたりして、とてもおもしろいお話です。
(5年女子の紹介)

